

## 第 32 回 渋谷健一奨励賞

本賞は、渋谷健一先生（元本学理事長）の本学創立百周年を記念した篤志を尊重し、有為な人材の育成に資することを目的として、本学に在学する学生のうち、学術、文化、体育等の活動を通じて、卓越した成果を収めた者（団体を含む）を対象に授与するものです。

### 【学術・文化の分野（団体）】

中央大学・東京大学合同チームTriumph_JPN#2018 古川 晴 貴 田中 庸 介 他 共 同 者 1 名	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 物理学専攻	2018年2月にインターネット上で行われた「国際理論物理学オリンピック（International Olympiad in Theoretical Physics）」に、中央大学・東京大学合同チーム（両氏を含め3名）のメンバーとして出場し、準優勝を取めた（優勝との得点差は1点）。全世界の大学生を対象として、各国から50チーム以上が参加した大会である。
中央大学専門職大学院嶋川大チーム 嶋川 大 介 宮島 祐 一 岡本 志 美 皆川 恵 美	大学院戦略経営研究科 専門職学位課程 戦略経営専攻	日本全国のビジネススクール22校から、161チーム（681名）が参加して競い合う「第9回JBCC（日本ビジネススクールケースコンペティション）」において、メンバーがそれぞれの専門知識を生かし、分析、プレゼンテーションを行い、見事に「準優勝/日本経営 ゴーイングコンサーン賞」に選ばれた。

### 【学術・文化の分野（個人）】

松 居 遼 平	法学部 3年	全日本学生法学連盟が主催し、全国15大学の参加する「第68回全日本学生法律討論会」に、中央大学を代表する論者として出場し、立論の部で優勝した。優勝は2015年以後の快挙である。
菅 谷 佳 波	法学部 3年	関東学生法学連盟が主催し、関東の8大学が参加する「平成30年度第1回関東学生法律討論会（春討）」に、中央大学を代表する論者として出場し、立論の部で優勝した。優勝は2011年以後の快挙である。
古 内 遼	法学部 2年	関東学生法学連盟が主催し、関東の8大学が参加する「平成30年度第2回関東学生法律討論会（秋討）」に、2年生にして中央大学を代表する論者として出場し、立論の部で優勝した。中央大学として本年度2連覇の快挙である。
中 山 裕 太	経済学部 4年	株式会社タップ主催の「第11回タップアワード」において、『SDGsに求められる価値創造型CSRホテル経営』という題の論文で、学生最高位の「学生賞」を受賞。この受賞は、観光・ホテル業界の有力紙である観光経済新聞や柴田書店の月刊「ホテル旅館」に掲載された。
清 水 啓 太	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 都市人間環境学専攻	土木学会水工学委員会より、「平成30年度土木学会水工学委員会水工学論文奨励賞」を受賞。洪水対策に採用されてきた設計値の振れ幅を推定する手法ならびに将来期間において生起しうる激甚豪雨を予測する新しい手法を構築した。同手法の導入は洪水対策におけるリスク評価の実現に寄与するものである。
池 嶋 大 貴	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	日本機械学会関東支部第24期講演会にて、「若手優秀講演フェロー賞」受賞。また、日本非破壊検査協会平成30年度秋季講演大会にて「新進賞」を受賞。また研究成果は査読付国際学術誌に採択され、民間財団の海外派遣助成にも採択されている。
萩 原 大 輝	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	計測自動制御学会主催「第18回公益社団法人計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会（SI2017）」にて、壁面移動ロボットの研究成果を発表し、1500名を超える参加者の中から30名ほどに贈られる「優秀講演賞」を受賞した。
只 見 侃 朗	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	2018年9月パナマで開催された「21th International Conference on Climbing and Walking Robots and Support Technologies for Mobile Machines（CLAWAR2018）」において、「CLAWAR Association Best Technical Paper Award」のThird Prizeを受賞。この賞は、ロボットの産業発展を目指す国際学会に投稿された論文の中から優れた成果に対して贈られるものである。また、「広域な海底下探査を可能にする、ミミズの蠕動運動を規範とした埋没型掘削ロボット」について、海洋研究開発機構と協力して開発。その成果を国内外の学会で発表し、高い評価を得ている。
野 澤 駿	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	修士研究が、公益社団法人自動車技術会大学院研究奨励賞を受賞。また同技術会や、「日本音響学会」にて講演発表を行っている。
坂 本 純 樹	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	日本冷凍空調学会の「2018年度日本冷凍空調学会会長奨励賞」を受賞。最新の研究成果としては、走査型プローブ顕微鏡により、界面活性剤を添加した水から生成された氷のガラス表面への付着力のナノスケール測定を行い、金属とは全く異なる付着力特性を示すことを明らかにした。
溝 口 恭 史	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 電気電子情報通信工学専攻	電子デバイス分野の世界で最も権威がある学会「IEDM」に、論文「Lateral Charge Migration Suppression of 3D-NAND Flash by VTH Nearing for Near Data Computing」が採択。修士の学生が発表するのは稀である。本論文は極めて高く評価され2018年2月に「IEEE EDS Japan Chapter Student Award」を受賞。世界最高の学会で高く評価されたのは誇るべき快挙である。
佐 藤 信 太 郎	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 電気電子情報通信工学専攻	和楽器、特に和太鼓の演奏支援システムについて研究し、その成果を、日本シミュレーション学会年会（JSST2018）実行委員会主催の学生ポスターセッションで発表。「Student Poster Presentation Award」を受賞した（発表総数34件中、10件程度）。
小 宮 山 剛 司	大学院理工学研究科 博士課程後期課程 応用化学専攻	近畿化学協会有機金属部会主催「第65回有機金属化学討論会」及びケイ素化学協会「第22回ケイ素化学協会シンポジウム」でいずれも「優秀ポスター賞」を受賞。従来反応しないとされていたケイ素化合物がハロゲン化アルチルとクロスカップリングする新反応を見出し、さらに、塩化アリールも反応相手に利用できることを突き止め、筆頭著者としてChemical Communication誌に発表した。
加 藤 崇 博	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	日本化学会主催「第8回CSJ化学フェスタ2018」において、「優秀ポスター発表賞」を受賞（1032件中184件受賞）。これまでほとんど例のないルテニウム錯体上でのP-C還元脱離によるホスホニウム塩の生成反応を見出し、Chemical Communication誌に速報を発表した。さらに、ホスホニウム塩の発光挙動を含めた論文を筆頭著者として投稿し、関連する発表を行った。
菅 井 夏 穂	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	高分子学会主催「第67回高分子学会年次大会」において、「優秀ポスター賞」を受賞（998名中55名受賞）。水中で酸素バブルを噴出しながら自走する酵素マイクロチューブモーターの合成に初めて成功した。

五十嵐 啓介	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	錯体化学会主催「第68回討論会」で「ポスター賞」を受賞(287名中11名受賞)。酸素輸送蛋白質であるヘモグロビンに部位特異的アミノ酸置換を施した遺伝子組換えヘモグロビン変異体を産生し、それをヒト血清アルブミンで包み込んだ構造の(遺伝子組換えヘモグロビン-アルブミン)クラスターを合成することに成功した。得られた蛋白質クラスターが、酸素親和性の調節可能な新しい人工血液となることも明らかにした。
岡田 小雪	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	錯体化学会主催「第68回討論会」で「ポスター賞」を受賞(287名中11名受賞)。両親媒性のオリゴエチレングリコキシン鎖を修飾したレドックス活性錯体群を新規に合成し、その物理化学的性質を詳細にし、従来の疎水性鎖では実現不可能な新規集積構造と自己集合特性を明らかにした。
澁澤 朱音	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	日本化学会低次元系光機能材料研究会主催「第8回サマーセミナー」において、「サポナイト上で粒径制御された銅ナノ粒子」に関する研究成果について講演を行い、応募総数277件中第1位に選ばれ、「優秀講演賞」として表彰された。
井出 充俊	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	錯体化学会主催「第68回討論会」で「ポスター賞」を受賞(287名中11名受賞)。また日本化学会主催「第8回CSJ化学フェスタ2018」でも「優秀ポスター発表賞」を受賞した(1032件中184件受賞)。表面錯体の電位により、PBナノ結晶の電子移動に伴うイオンの取込みを動的に制御でき、イオンの取り込み・放出を自在に行えることに明らかにした。
渡辺 拓実	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	2018年9月にイタリア・ボローニャで開催された2000人規模の国際会議「第69回国際電気化学会年会(69th Annual ISE Meeting)」にて、「ポスター賞」を受賞(総数 1134件中23名受賞)。プロトン共役多電子移動可能な配位子をもつルテニウム錯体を合成し、その電気化学および光誘起電子移動に関する研究を報告して海外の研究者から高く評価された。
比留間 友亮	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	2018年5月にフランス・ナンシーで開催された「ElecNano8(第8回ナノ電気化学の国際会議)」にて、ポスター発表し、「優秀ポスター賞」を受賞(79件中3件受賞)。また、日本化学会主催「第8回CSJ化学フェスタ2018」でも「優秀ポスター発表賞」を受賞した(1032件中184件受賞)。PCETを示す2つのRu錯体でプロトン伝導性ポリマーを挟み込みこんだ二端子デバイスがプロトンモリスタとして働くことを初めて明らかにした。
有谷 一志	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 応用化学専攻	2018年7月仙台で開催された2000人規模の「第43回配位化学国際会議(ICC2018)」において、「優秀ポスター賞」を受賞(発表総数 677件中65名受賞)。有機染料としてよく知られたインジゴをレドックス活性配位子とするルテニウム錯体を合成し、二酸化炭素の電気化学的還元に応用した研究が高く評価された。
QUANG NGOC HIEU	大学院理工学研究科 博士課程後期課程 情報セキュリティ科学専攻	Progress In Electromagnetics Research Symposiumによる「国際会議PIERS2018」にて開催された学生論文コンテストで、「Best Student Paper Award」第2位を受賞。本学の名声を高めた。
牛込 龍太郎	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 情報工学専攻	情報科学技術フォーラム運営委員会主催「FIT2017第16回情報科学技術フォーラム」において発表した論文が評価され、「ヤングリサーチ賞」を受賞。学術的な成果のみならず、社会的な貢献も大変高く評価された。

#### 【体育の分野(団体)】

フェンシング部	学生会体育連盟	第71回 全日本フェンシング選手権大会 女子サーブル団体 優勝 2018年 全日本学生フェンシング選手権大会 男子サーブル団体 優勝
---------	---------	---

#### 【体育の分野(個人)】

原 勇 輝	法学部 3年 (学生会体育連盟重量拳部)	第64回 全日本学生ウェイトリフティング個人選手権大会 85kg級 優勝 第64回 全日本大学対抗ウェイトリフティング選手権大会 85kg級 優勝
長野 凌生	文学部 3年 (学生会体育連盟水泳部)	2018 ジャパンパラ水泳競技大会 男子100m自由形(S13クラス) 優勝 第35回 日本パラ水泳選手権大会 男子50m・100m自由形(S13クラス) 優勝
宮浦 真之	文学部 4年 (学生会体育連盟ボート部)	第18回 アジア競技大会 男子軽量級男子ダブルスカル 優勝 第45回 全日本大学選手権大会 男子シングルスカル 優勝
廣瀬 正典	経済学部 4年 (学生会体育連盟自動車部)	平成30年度 全日本学生自動車連盟年間総合杯 男子個人 優勝

### 第26回 三重野康・高木友之助記念学術奨励賞

本賞は、三重野康元日本銀行総裁及び高木友之助元総長の篤志を尊重し、有為な人材の育成に資することを目的として、学部学生のうち、経済、金融、政策等の諸科学の分野で、卓越した成果を収めた者に授与するものです。

桐生 紗季	商学部 4年	商学部の演習論文大会商学部長賞は、1,000人以上の4年生の中で、特に優秀な卒業論文を執筆した学生を表彰する制度である。この賞は6つの専門分野に分けて表彰しているが、桐生氏の卒業論文はその中でも最も優れていると評価されたものである。桐生氏の研究は、日本の電気機器産業を対象として、事業の多角化が企業価値に及ぼす効果を実証的に検討したものである。本研究は、金融危機の発生した2008年以降のデータを用いた多角化の数少ない研究であり、膨大なパネルデータ・セットを1人で作り上げ、少しでも厳密な分析を行うべく分析手法の点でも努力を重ねた点で、学部生の研究として高く評価できる。したがって、本年度の三重野康・高木友之助記念学術奨励賞に推薦する。
佐々木 修平	経済学部 4年	この論文は、貿易と貿易費用にかかわる研究を、ドイツの国際経済取引に焦点をあてて分析を行ったものである。FTA(自由貿易協定)及びRTA(地域貿易協定)の役割をOECDのTiVA(付加価値貿易)データベースと世界銀行のWITS(World Integrated Trade Solution)をはじめとする貿易関連のデータベースを整理し、重力モデルを用いて分析する。加えて、近年注目されている貿易費用についての分析を行った。貿易費用の制度的な影響を念頭に置き、最近のデータベースを巧く活用して、ドイツを対象とする貿易政策の優れた実証分析を行ったことを高く評価するものである。

## 第 24 回 船木勝馬学術奨励賞

本賞は、船木勝馬氏の篤志を尊重し、有為な人材の育成に資することを目的として、アジア諸国・地域からの留学生を対象とし、卒業論文、修士論文又は研究論文が、優秀と認められた者に授与するものです。

NGUYEN NAM KHANH	大学院理工学研究科 博士課程後期課程 電気・情報系専攻	NGUYEN NAM KHANH氏は、現在大学院理工学研究科の博士課程後期課程1年に在学中のベトナムからの留学生である。本学において博士課程前期課程から勉学に励み、電磁波錯乱問題について熱心に研究を行っている。今年8月1日～4日に富山で行われた国際会議（2018 Progress in Electromagnetics Research Symposium, Toyama）で行われた学生論文コンテストで発表された論文「H-polarized Plane Wave Diffraction by Thick Conducting Slits」は、第2位を受賞した。
------------------	-----------------------------------	---

## 第 24 回 水野富久司スポーツ奨励賞

本賞は、水野富久司氏の篤志を尊重し、スポーツ振興の支援体制の一環として陸上競技部選手の育成に資することを目的として、陸上競技部に所属する学生のうち、長距離選手として優秀な成績を収めた者に授与するものです。

中山 顕	法学部 4年 (陸上競技部)	第95回東京箱根間往復大学駅伝競走の1区において、区間2位（1時間2分36秒）の好成績を記録した。
------	-------------------	---

## 第 22 回 瀧野秀雄学術奨励賞

本賞は、瀧野秀雄氏の篤志を尊重し、少壮気鋭の研究者の研究活動を奨励することを目的として、本学准教授、助教若しくは専任講師又は大学院に在籍する学生であつて、産業や技術開発の国際化にともなう知的財産権に関する研究論文が優秀と認められた者に授与するものです。

荒川 大和	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	荒川氏は人格・学業ともに優秀な学生であり、修士論文研究において、アシスト装置に関する研究を勤勉に取り組んでおり、国際会議へ筆頭著者として1件、共著者として2件の論文を執筆し、本研究内容に関連して「アシスト装置（特願2018-157684号）」を出願している。また、論文「Proposal of non-rotating Joint Drive Type Power Assist Suit for Lower Limbs considering Squat Lifting」が工学分野の有名学術誌「Journal of Robotics and Mechatronics」に掲載されるなど、自立性に優れ、新たな情報に関して高い研究意識を持つことから荒川君を瀧野秀雄学術奨励賞に推薦する。
鎌田 将司	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	鎌田氏は人格・学業ともに優れている。また、研究において複数の成果を国内外に向けて発信し、新規性のある発明もしている。研究成果については、論文「Morphological change in peristaltic crawling motion of a narrow pipe inspection robot inspired by earthworm's locomotion」が日本ロボット学会の公式国際ジャーナル(RSJ)で、ロボット科学と技術に関する研究のあらゆる側面の出版を統合した学際的なジャーナルである「Advanced Robotics」に掲載されるなど評価が高い。また、同一分野における研究において筆頭著者として2件の国際会議（AIM2017、BIOROB2018）への執筆を行っている。また、新規性のある発明に関して「アクチュエータ及び自走式ロボット（特願2017-242833）」や「自走ロボット（特願2018-096573）」の特許2件出願している。
芦垣 恭太	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 精密工学専攻	芦垣氏の修士論文研究が研究の質と新規性の2点において優れているためである。研究の質については、論文「Study of an Automatic Material Method for the Continuous Production of solid Propellant by a peristaltic Mixer」が宇宙工学分野の有名学術誌「TRANSACTIONS OF THE JAPAN SOCIETY FOR AERONAUTICAL AND SPACE SCIENCES, AEROSPACE TECHNOLOGY JAPAN」に掲載されるなど評価が高い。また、筆頭著書として他1件、共著者として他3件の学術論文を執筆している。さらに、筆頭著者として4件の国際会議への執筆に加え、「第18回 計測自動制御学会システムインテグレーション部門後援会」では1500件以上の発表から各セッション1件ずつ選出される「SICE SI2017優秀講演賞」を受賞している。

## 第 22 回 茨木龍雄学術奨励賞

本賞は、茨木龍雄氏の篤志を尊重し、都市環境学の分野における有為な人材の育成に資することを目的として、理工学部都市環境学科及び大学院理学研究科都市環境学専攻に在籍をする学生であつて、都市環境学に関する研究及び人物がともに優秀と認められた者に授与するものです。

山形 仁紀	大学院理工学研究科 博士課程前期課程 都市人間環境学専攻	山形仁紀氏は、修士課程において「下水処理過程におけるTiO <sub>2</sub> 粒子の物質収支と粒径100 nm未満の成分比率の把握」に関する研究を行い、修士論文発表会において特に優れた研究発表を行ったとの評価を得ている。本研究は、多大な試行錯誤を繰り返した結果、身につけた分析スキルにより可能になった研究であり、その努力と根性は賞賛に値する。将来は、地球環境に配慮した街作りへの貢献を希望しており、今後、社会での益々の活躍が期待される。
及川 雄真	理工学部 4年	及川雄真氏は成績優秀で、同級生からの信頼も厚い勤勉な学生である。国家公務員総合職試験に学部4年生で合格し、さらに理工学部の国家公務員試験講座の運営には学部3年生時から積極的にに関わり、統率力を持って活躍している。また、研究室の中にとどまらず、現地での観測・調査に積極的に参加し、自ら研究のための情報を取りに行く姿勢を持っている。卒業論文では、平成27年9月関東・東北豪雨での鬼怒川水害を例に、多くのことがまだ明らかになっていない線状降水帯について、その形成位置の違いが河川の水位へ及ぼす影響について検証し、線状降水帯の特性の一例を示すような結果をまとめ、発表会において最も優れた発表を行ったとの評価を得ている。

## 第 22 回 久保田昭夫・久保田紀昭女子スポーツ奨励賞

本賞は、久保田昭夫氏及び久保田紀昭氏の篤志を尊重し、スポーツ振興の支援体制の一環として女子選手の育成に資することを目的として、学友会体育連盟の部に所属する女子学生であって、選手として優秀な成績を取れた者に授与するものです。

江 村 美 咲	法学部2年 (フェンシング部)	・第71回全日本フェンシング選手権大会 女子サーブル 個人優勝 女子サーブル 団体優勝 ・2018年度全日本フェンシング選手権大会 女子サーブル 個人優勝 国内最高峰の大会で優秀な成績を収めた。なお、現在、女子サーブル(シニア)ランキング2位であり、ナショナルチームメンバーに選出されており、世界大会での活躍が期待できる。
大 本 里 佳	法学部3年 (水泳部)	・第94回日本学生選手権水泳競技大会 女子100m自由形 優勝 女子200m個人メドレー 優勝 ・第94回日本選手権競泳競技大会 女子200m個人メドレー 3位 国内最高峰の大会で優秀な成績を収め、今後、日本代表候補者に選出される可能性がある。

## 第 65 回 学員体育会賞

本賞は、体育の業績において優秀な成績を挙げた本学の学生、団体に対し授与するものです。

### 【優秀団体賞】

剣道部	・第66回全日本学生剣道大会 優勝(24年ぶり13回目)
-----	------------------------------

### 【優秀団体部門賞】

自動車部	平成30年度全日本学生ダートトライアル選手権大会 男子団体の部 優勝
フェンシング部(男子)	2018年全日本学生フェンシング選手権大会 第58回全日本大学対抗選手権大会(インカレ) 第68回全日本学生フェンシング王座決定戦 第70回関東学生フェンシング選手権大会 男子サーブル団体 優勝(2連覇) 男子エペ 優勝 男子サーブル 優勝 男子エペ団体 優勝 男子サーブル団体 優勝(3連覇)
フェンシング部(女子)	第71回全日本フェンシング選手権大会 第70回関東学生フェンシング選手権大会 女子サーブル団体 優勝(初優勝) 女子サーブル団体 優勝

### 【努力団体賞】

準硬式野球部	平成30年度東都大学準硬式野球春季リーグ戦 優勝(3連覇)
軟式野球部	平成30年度東都学生軟式野球春季リーグ戦 優勝(3連覇)

### 【努力団体部門賞】

自転車競技部	第57回全日本学生選手権チームロードタイムトライアル大会 優勝(2連覇) 直井駿太(経4)、今村駿介(法3)、奥村十夢(商2)、山本哲央(経1)
--------	---

### 【特別賞】

スケート部	第29回ユニバーシアード冬季競技大会 アイスホッケー男子 日本代表 養島圭悟(法4)、徳光 陸(文2)、宮本明朗(総2)、嶋貫一真(法1)
-------	--

### 【リレー賞】

陸上競技部	天皇賜盃 第87回日本学生陸上競技対校選手権大会 4×100mリレー 優勝(6連覇) 宮城辰郎(理3)、竹田一平(経4)、大久保公彦(文3)、染谷佳大(法2)
-------	--

【優秀選手賞】

長 野 凌 生	文学部 3年 (水泳部)	・インドネシア2018アジアパラ競技大会 水泳 50m自由形 3位 100m自由形 4位 100m背泳ぎ 7位
大 本 里 佳 (昨年度優秀選手賞)	法学部 3年 (水泳部)	・第94回日本学生選手権水泳競技大会 100m自由形 優勝 200m個人メドレー 優勝
都 築 仁	法学部 2年 (バレーボール部)	・第18回アジア競技大会 バレーボール 5位
廣 瀬 正 典	経済学部 4年 (自動車部)	・平成30年度全日本学生自動車連盟 年間総合杯 男子個人の部 優勝(2連覇) ・平成30年度全日本学生ジムカーナ選手権大会 男子個人の部 優勝(2連覇) ・平成30年度全日本学生ダートトライアル選手権大会 男子個人の部 優勝 ・平成30年度全日本学生自動車運転競技選手権大会 男子小型貨物個人の部 総合優勝 ・平成30年度全関東学生ダートトライアル選手権大会 男子個人の部 優勝
荆 田 ゆ り な	総合政策学部 4年 (自動車部)	・平成30年度全日本学生自動車運転競技選手権大会 女子小型貨物個人の部 優勝(2連覇)
渡 邊 裕 斗 (昨年度優秀選手賞)	商学部 3年 (フェンシング部)	・2018年全日本学生フェンシング選手権大会 ・第68回全日本学生個人選手権大会(インカレ) 男子サーブル 優勝 ・第70回関東学生フェンシング選手権大会 男子サーブル 優勝
江 村 美 咲	法学部 2年 (フェンシング部)	・第71回全日本フェンシング選手権大会 女子サーブル個人戦 優勝 ・2018年全日本学生フェンシング選手権大会 ・第68回全日本学生個人選手権大会(インカレ) 女子サーブル 優勝 ・第70回関東学生フェンシング選手権大会 女子サーブル 優勝
へ ン プ ヒ ル 恵	文学部 4年 (女子陸上競技部)	・第18回アジア競技大会 陸上競技 七種競技 6位 ・天皇賜盃 第87回日本学生陸上競技対校選手権大会 七種競技 優勝(3回目) ・第97回関東学生陸上競技対校選手権大会 七種競技 優勝(4連覇)
宮 浦 真 之	文学部 4年 (ボート部)	・第18回アジア競技大会 ボート 男子軽量級ダブルスカル 優勝 ・第45回全日本大学選手権大会 男子シングルスカル 優勝
今 村 駿 介	法学部 3年 (自転車競技部)	・第18回アジア競技大会 自転車競技 トラック4kmチームパーシュート 3位 マディソン 3位

【体育賞】

菅 野 陽 太	法学部 2年 (相撲部)	・第96回全国学生相撲選手権大会 個人戦 優勝
尾 形 颯	商学部 3年 (レスリング部)	・文部科学大臣杯 平成30年度全日本学生レスリング選手権大会 フリースタイル74kg級 優勝
望 月 勇 希	法学部 3年 (硬式庭球部)	・第85回全日本学生テニス選手権大会(シングルス) 優勝(40年ぶり)
田 崎 結 女	文学部 4年 (ボート部)	・第45回全日本大学選手権大会 女子舵手なしペア 優勝
林 田 瑞 季	商学部 3年 (ボート部)	・第45回全日本大学選手権大会 女子舵手なしペア 優勝
原 勇 輝	法学部 3年 (重量挙げ部)	・第64回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会 男子85kg級 優勝 ・第64回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 男子85kg級 優勝

【努力賞】

千 葉 諒	経済学部 4年 (準硬式野球部)	・平成30年度東都大学準硬式野球春季リーグ戦 優勝 最優秀選手賞
古 俣 聖	法学部 3年 (硬式庭球部)	・第70回関東学生フェンシング選手権大会 男子エペ個人戦 優勝
大 久 保 有 梨	商学部 4年 (女子陸上競技部)	・2018日本学生陸上競技個人選手権大会 100mハードル 優勝
諸 田 実 咲	法学部 2年 (女子陸上競技部)	・2018日本学生陸上競技個人選手権大会 棒高跳び 優勝(大会新記録) ・第97回関東学生陸上競技対校選手権大会 棒高跳び 優勝(2連覇)(大会タイ記録)
ジ ェ ン デ ィ 今 夢	総合政策学部 4年 (重量挙げ部)	・第64回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 男子94kg級 優勝
清 水 春 香	文学部 4年 (射撃部)	・平成30年度関東学生スポーツ射撃選手権大会 春季大会 10mS60W 優勝(2連覇)
林 康 平	経済学部 3年 (軟式野球部)	・平成30年度東都学生軟式野球春季リーグ戦 優勝 最高殊勲選手賞

【学長賞】

都 築 仁	法学部 2年 (バレーボール部)	宮 浦 真 之	文学部 4年 (ボート部)
長 野 凌 生	文学部 3年 (水泳部)	江 村 美 咲	法学部 2年 (フェンシング部)
大 本 里 佳	法学部 3年 (水泳部)	今 村 駿 介	法学部 3年 (自転車競技部)
廣 瀬 正 典	経済学部 4年 (自動車部)	渡 邊 裕 斗	商学部 3年 (フェンシング部)
荊 田 ゆ り な	総合政策学部 4年 (自動車部)	菅 野 陽 太	法学部 2年 (相撲部)
へ ン プ ヒ ル 恵	文学部 4年 (女子陸上競技部)	望 月 勇 希	法学部 3年 (硬式庭球部)

【優秀監督賞】

北 原 修	剣道部
-------	-----

【永年監督賞】

添 田 広 福	自転車競技部監督
---------	----------

第 36 回 学員会会長賞

本賞は、在学生の士気の高揚を図り、本学の発展に寄与することを目的として、本学在学生のうち学術、文化、社会等の活動を通じて特に優秀な成果を取った者に授与するものです。

【学術・文化・社会の分野】

森 春 菜	法学部 4年	「防災活動を日常に」をコンセプトに活動している日野市落川交流センターでのイベントに主体的に参加し、運営スタッフとしても活動することで、本学の学生が近隣住民と継続して活動できる礎を築いた。また、「日野市まちづくりフェア」では、行政や社会福祉協議会とも協働して行い、本学と地域住民と共にコミュニティに根付いた地域づくりとしての拠点を形成したことにより、本学と地域との連携に多大なる成果を残した。(2年連続学長賞・学部長賞受賞)
木 村 亘 佑	法学部 4年	1年次より東日本大震災被災地でのボランティア活動を経験に基に、2年次に自らの出身地である熊本が被災した際に「チームくまもと」を立ちあげ、「最後の一人まで寄り添う」活動を継続して行っている。東北と熊本での活動は、マスコミ各社(NHK、朝日新聞、読売新聞、熊本日日新聞など)に掲載されるとともに、信濃育英会からの表彰(2018/10/6)を受けており、本学ボランティア活動の理念と自らの活動実績を広く社会に成果として残した。
朝 倉 剛 一	理工学部 4年	朝倉剛一氏は、昨年度GPA 3.81(通算GPA 3.58)と、極めて優秀な成績を修め、大学院の推薦入学が決定している。卒業研究においては、数理統計学に関する洋書を的確に理解して読み進め、他のゼミ生の模範になっている。また、ゼミの活動としてグループでスポーツデータ解析コンペティションに出場中であり、グループを主導して分析を進めている。教員採用試験を受けて臨時的任用教員候補となったが、統計学のさらなる学習を希望して大学院進学を希望するなど、向学心と熱意をもっている。以上の理由で、朝倉剛一君を学員会会長賞に推薦する次第である。(理工学部長賞受賞)
小 川 実 咲	文学部 2年	小川実咲氏は小学校2年生のときに「そろばんUSA」に入会して以来、そろばんの腕を磨き、中央大学文学部の英語文学文化専攻に入学後は、「そろばんクリスマスカップ2018」英語読上算部門で日本一を獲得した。英語読上算は通常の読上算の能力に加えて、英語を瞬時に聞き取るヒアリング能力が必要とされる。そのためイギリス英語、アメリカ英語、日本語なまりの英語すべてに対応できるように練習してきた。英文専攻の学生にふさわしい栄えある受賞を祝し、さらなる活躍を励ましたい。
青 野 鷹 哉	文学部 3年	青野鷹哉氏は入学した2014年の夏休み中の事故によって頸椎損傷し休学、2017年4月に復学しました。進取の気性とユーモアのセンス、読書による語彙力と思考力に支えられた優れた発表やレポートによって教職員の高い評価を獲得し、同級生の模範となっている。2017年に初めてパラセーリングの試合に出場した模様と、リハビリの努力と家族の応援と仲間たちの協力は、NHKワールドでも紹介された。このたび2018ハンザクラスワールド&インターナショナルチャンピオンシップ広島大会に出場し、Liberty (Sarvoクラス)で3位という輝かしい成績を修めたことを祝福し、スポーツと学業両面でさらなる活躍を期待したい。
FLP環境プログラム西川ゼミ 金子直樹 2名	金子 直樹 法学部4年 小山 優花 法学部4年 蜂谷 真基 商学部4年	金子氏は、3年間フィールドワークを通して「東京都内の表層水における分布と薬剤耐性薬剤の種類」について調査を行い、学術的にも貴重な成果を出した(査読付き論文発表:環境情報科学学術研究論文集 32, p13-16)。更に、学園祭、大学の教養番組「知の回廊」制作、週刊誌「アエラ」に成果が掲載(2018年1月)されるなど、多様な活動を通して薬剤耐性対策啓発活動に多に貢献した。この「中央大学全学連携教育機構環境プログラム西川ゼミの薬剤耐性菌に関する取り組み」に対して、2018年11月5日に第2回薬剤耐性対策普及啓発活動表彰の優良事例として「文部科学大臣賞」を受賞し、高い評価を得た。
N's Lab 小野葵 3名	小野 葵 商学部3年 榎木 翔馬 商学部3年 砂川 紗輝 商学部3年 小原 捺暉 商学部4年	野島記念BusinessAward2018で優勝した『C-Square』は、ASEANの学生が日本の資格を取得するにあたって、ハードルを下げるためのプラットフォームを構築し、また、「資格取得から働くまで」を一貫してサポートする人材紹介事業を提案した。野島記念審査基準に定めた、発想、分析、基本戦略、実現可能性いずれにおいて基準を超えた優秀なものであり、プレゼンテーションにおいても、自分たちのアイデアで社会を変えたいといった姿勢等、その事業を魅力的に伝える優れた技術を有していた。

FLPジャーナリズムプログラム 松野良一ゼミ 柳沢直己	柳沢直己 総合政策学部 2年	ゼミ活動で制作したドキュメンタリー「『私は何者であるのか…』—ある台湾人学徒の証言—」が「地方の時代」映像祭（NHK、民放連など主催）で奨励賞を受賞し、高い評価を受けた。さらに、『女学生と風船爆弾』が、「東京ビデオフェスティバル2018」でグランプリ「ビデオ大賞」を受賞した。このような「多摩探検隊」の活動が読売新聞などマスメディアに取り上げられ、中央大学の名声を高めた。
-----------------------------------	-------------------	--

【スポーツの分野（個人）】

長野凌生	文学部 3年 (水泳部)	・インドネシア2018アジアパラ競技大会 水泳 50m自由形 3位 100m自由形 4位 100m背泳ぎ 7位
大本里佳 (昨年度優秀選手賞)	法学部 3年 (水泳部)	・第94回日本学生選手権水泳競技大会 100m自由形 優勝 200m個人メドレー 優勝
都築仁	法学部 2年 (バレーボール部)	・第18回アジア競技大会 バレーボール 5位
廣瀬正典	経済学部 4年 (自動車部)	・平成30年度全日本学生自動車連盟 年間総合杯 男子個人の部 優勝(2連覇) ・平成30年度全日本学生ジムカーナ選手権大会 男子個人の部 優勝(2連覇) ・平成30年度全日本学生ダートトライアル選手権大会 男子個人の部 優勝 ・平成30年度全日本学生自動車運転競技選手権大会 ・男子小型貨物個人の部 総合優勝 ・平成30年度全関東学生ダートトライアル選手権大会 男子個人の部 優勝
剃田ゆりな	総合政策学部 4年 (自動車部)	・平成30年度全日本学生自動車運転競技選手権大会 女子小型貨物個人の部 優勝(2連覇)
渡邊裕斗 (昨年度優秀選手賞)	商学部 3年 (フェンシング部)	・2018年全日本学生フェンシング選手権大会 ・第68回全日本学生個人選手権大会(インカレ) 男子サーブル 優勝 ・第70回関東学生フェンシング選手権大会 男子サーブル 優勝
江村美咲	法学部 2年 (フェンシング部)	・第71回全日本フェンシング選手権大会 女子サーブル個人戦 優勝 ・2018年全日本学生フェンシング選手権大会 ・第68回全日本学生個人選手権大会(インカレ) 女子サーブル 優勝 ・第70回関東学生フェンシング選手権大会 女子サーブル 優勝
ヘンブリル恵	文学部 4年 (女子陸上競技部)	・第18回アジア競技大会 陸上競技 七種競技 6位 ・天皇賜盃 第87回日本学生陸上競技対校選手権大会 七種競技 優勝(3回目) ・第97回関東学生陸上競技対校選手権大会 七種競技 優勝(4連覇)
宮浦真之	文学部 4年 (ボート部)	・第18回アジア競技大会 ボート 男子軽量級ダブルスカル 優勝 ・第45回全日本大学選手権大会 男子シングルスカル 優勝
今村駿介	法学部 3年 (自転車競技部)	・第18回アジア競技大会 自転車競技 トラック4kmチームパーシュート3位 マディソン 3位
菅野陽太	法学部 2年 (相撲部)	・第96回全国学生相撲選手権大会 個人戦 優勝
望月勇希	法学部 3年 (硬式庭球部)	・第85回全日本学生テニス選手権大会(シングルス) 優勝(40年ぶり)

【スポーツの分野（団体）】

剣道部		・第66回全日本学生剣道大会 優勝(24年ぶり13回目)
-----	--	------------------------------

【スポーツの分野 (OB)】

飯塚翔太 ミズノ株式会社	陸上競技部OB	・第18回アジア競技大会 陸上競技 男子200m 6位 男子4×400mリレー 3位
木村淳 大阪ガス株式会社	陸上競技部OB	・第18回アジア競技大会 陸上競技 男女混合4×400mリレー 5位
砂間敬太 株式会社ナガセ: イトマン東進	水泳部OB	・第18回アジア競技大会 水泳・競泳 200m背泳ぎ 3位
塩浦慎理 株式会社ナガセ: イトマン東進	水泳部OB	・第18回アジア競技大会 水泳・競泳 100m自由形 優勝 4×100mリレー 優勝 4×100mメドレーリレー 2位
丸中大明 西日本電信電話株式会社	ソフトテニス部OB	・第18回アジア競技大会 ソフトテニス 2位
中堀成生 西日本電信電話株式会社	ソフトテニス部OB	・第18回アジア競技大会 ソフトテニス 監督
佐古賢一 公益財団法人日本 バスケットボール協会	バスケットボール部OB	・第18回アジア競技大会 バスケットボール コーチ
杉岡尚樹 トヨタ車体株式会社	ハンドボール部OB	・第18回アジア競技大会 ハンドボール 4位
千々木駿介 株式会社プレイヤー スポーツクラブ 堺プレイヤーズ	バレーボール部OB	・第18回アジア競技大会 バレーボール 5位
傳田亮太 豊田合成株式会社 豊田合成トレフェルサ	バレーボール部OB	・第18回アジア競技大会 バレーボール 5位
渡邊隆司 公益財団法人 日本卓球協会	卓球部OB	・第18回アジア競技大会 卓球 コーチ
吉田圭伸 自衛隊体育学校	スキー部OB	・2019FISノルディックスキー世界選手権大会 日本代表
蛭沢克仁 ソニー生命	スキー部OB	・2019FISノルディックスキー世界選手権大会 クロスカントリーヘッドコーチ
神崎信彦 (有)ライフアンド ファイナンス	スキー部OB	・第29回ユニバーシアード冬季競技大会 アルペンコーチ
林靖晴 東日本電信電話株式会社	ボート部OB	・第96回全日本選手権大会 男子エイト 優勝(3連覇)
高野勇太 東日本電信電話株式会社	ボート部OB	・第18回アジア競技大会 ボート 男子舵手なしペア 3位 ・第96回全日本選手権大会 男子エイト 優勝(3連覇)
柿木孝之 Blue Wych 合同会社	自転車競技部OB	・第18回アジア競技大会 自転車 コーチ
笠井武広 総合警備保障株式会社	重量挙げ部OB	・第18回アジア競技大会 ウェイトリフティング 77kg級 6位 ・第78回全日本ウェイトリフティング選手権大会 77kg級 優勝 (クリーン&ジャーク種目及びトータルで日本新記録)
永島宏泰 公益財団法人 日本オリンピック委員会	射撃部OB	・第18回アジア競技大会 射撃 クレー射撃 監督
磯部直樹 大分市役所	射撃部OB	・第18回アジア競技大会 射撃 ライフル射撃 コーチ
清水綾乃 自衛隊体育学校	射撃部OB	・第52回世界射撃選手権大会 ライフル射撃 日本代表 ・第18回アジア競技大会 射撃 ライフル射撃 日本代表 ・平成30年度全日本選抜ライフル射撃競技大会 50m3×40W 優勝 50mP60W 優勝 50m3×40W 優勝 10mMixed Team 優勝 10mMixed Team 3位
山下敏和 自衛隊体育学校	射撃部OB	・第52回世界射撃選手権大会 ライフル射撃 日本代表 ・第18回アジア競技大会 射撃 ライフル射撃 日本代表 ・全日本ライフル射撃選手権大会 50mP60M 優勝



西本 泰太 トナミ運輸株式会社	バドミントン部OB	・第18回アジア競技大会 バドミントン	男子団体 3位 男子シングルス 3位
--------------------	-----------	---------------------	-----------------------

### 第3回 学員会会長奨励賞

本賞は、在学生の士気の高揚を図り、本学の発展に寄与することを目的として、本学在学生のうち学術、文化、社会等の活動を通じて優秀な成果を収めた者に授与する学員会会長賞に準ずる者に授与するものです。

#### 【学術・文化・社会の分野】

向山 碧 杜	法学部 3年	ボランティアセンター公認団体の二つ、面瀬学習支援とチーム防災の双方に所属し、その団体では中心人物として3年間に渡り、東北被災地（宮城県気仙沼市）での子供たちの居場所を創出する活動【面瀬学習支援】を市議会議員やNPOとの協働で活動を行うと共に、防災・減災（主に多摩地域）の観点からの活動【チーム防災】を行政や社会福祉協議会、本学卒業生と行うことで、本学の社会貢献分野で多大なる功績を残した。
山本 展 久	商学部 4年	12月23日日本大学商学部において行われた「アカウンティングコンペティション2018」において、「経営・会計分野におけるディープラーニングの応用可能性」というテーマで報告し、近年、囲碁や将棋などの分野で話題になったディープラーニング（深層学習）と呼ばれるAI（人工知能）関連技術を用い、企業業績の将来予測を試みた。山本氏は、実践的研究部門（21チーム）に出場し、テーマの着眼点、独創性、発展可能性などが認められ、審査委員特別賞を受賞した。
越阪 部 佑 佳	理工学部 4年	卒業研究では、配位子の鎖状の炭素数を変化することによる、コバルト錯体の物性の変化を追究している。2018年9月に行われた錯体化学会若手の会「夏の学校2018」において、ポスター発表を行った。2019年3月に行われる日本化学会春季年会において、ポスター発表を行う。
栗原 菫 菫	理工学部 4年	3年間真摯に勉学に励み、3年次終了時点でGPA 3.82という、当学科学年で最優等の成績を残している。修得単位も130単位であり、当学科2位のGPAが3.66であることを考えると、抜きんでた成績と言える。また、4年次の卒業研究では、風景画像の印象評価に関する研究に取り組み、ディープラーニングを用いて評価画像の判別を試み、データ収集やプログラミング、実験など時間のかかる作業を忍耐強く行い、学外研究者との勉強会にも積極的に参加するなど、当学科の学生の模範的な存在であった。
澤井 魁	理工学部 4年	4年間の理工学部情報工学科在籍期間を通じて成績優秀であり、かつ、学業の集大成である卒業論文研究において、スポーツの反則判定補助を拡張現実感で実現するという意欲的な研究を推進した。大学院進学後にはさらなる研究の発展や国際会議での論文発表等が期待される。
阿部 祐 菜	理工学部 4年	2018年8月に第19回国際一輪車競技大会に出場し、個人演技(年齢別21-23歳の部)で準優勝。団体演技(ラージの部)で3位になった。団体は2017年夏からコペンハーゲン大学への交換留学で滞在していたデンマークのチームのメンバーとして出場した。また、前回大会の2016年8月に行われた第18回国際一輪車競技大会では個人演技(19-20歳の部)、団体演技(ラージの部)で優勝した。
鈴木 龍 正	理工学部 4年	鈴木龍正氏は昨年度GPA 3.8(通算GPA 3.82)と、非常に優秀な成績を修めた。また、卒業研究においては微分幾何学の学習・研究に意欲的に取り組んでおり、卒業後は東京工業大学大学院への進学が内定している。(理工学部長賞受賞)
福島 寛 太	理工学部 4年	理工学部生命科学科の学生として卒業研究を行う傍ら、演奏水準が高く、本選に進む事も大変に難しいとされる国際アマチュアピアノコンクール(2018年)に入賞を果たした点が大いに評価できるため。
金森 公 平	理工学部 4年	研究発表「繰返しレーザー衝撃波を用いた無電解Ni-Pめっき膜の密着耐久性評価」が、日本材料学会関東支部2018年度学生研究交流会において優秀講演発表賞を受賞した。これは講演者の上位10%に与えられる賞であり、聴講者100名近くの投票と審査の結果、本発表が極めて優秀な内容として選ばれた。また、その他の関連研究の成果についても3件の学会発表を行い、その一つは日本非破壊検査協会応力・ひずみ測定と強度評価(SSE)シンポジウムにおいて学生優秀発表賞を受賞した。
中川 碧	理工学部 4年	理工学部の都市環境学科において、常にトップクラスのGPAを維持し、積極的な学習態度で学年をリードしてきた。TOEIC900点近くの語学力を活かし、3年次にはハワイ大学にも短期留学した。帰国後は「構造物の信頼性の一般原則ISO2394」に例示される、各国の経済指標と目標安全性水準の関係性を、津波避難ビルの建設に具体的に応用し、ハワイ大学提供の被害シミュレーションと合わせて、国ごとの救命可能性の違いを分析するという、困難な研究に成果をあげている。
阿部 真 輝	理工学部 4年	阿部真輝氏は提案・実証した技術は大変高度なものであり、半導体デバイス技術分野で世界で最も権威あるIEEE(米国電気電子学会)主催Symposium on VLSI Technologyに論文「Pre-shipment Data-retention/Read-disturb Lifetime Prediction & Aftermarket Cell Error Detection & Correction by Neural Network for 3D-TLC NAND Flash Memory」として投稿した。また、阿部真輝君は学部1-3年時の成績も極めて優秀で、2016年度、2017年度の理工学部給付奨学生にも選ばれ、2018年度学部長賞を受賞した。以上から、阿部真輝君を平成30年度中央大学学員会会長奨励賞学生に強く推薦する。
黒崎 友 美	文学部 2年	黒崎友美氏(東洋史学専攻2年)は、日本で唯一のマレー語弁論大会である「マレー語スピーチコンテスト2018」の大学生の部において、3位を受賞した。本学からの同スピーチコンテストへの参加および入賞は初めての快挙であり、素晴らしい成果と言える。審査員との間でマレー語による質疑応答を流暢にこなすなど、特殊言語であるマレー語を短期間で習得したことは、特筆に値し、高く評価される。
梅 森 隼	総合政策学部 3年	ボランティアセンター公認団体の二つ、面瀬学習支援とチーム防災の双方に所属し、両団体において中心人物として3年間に渡り、東北被災地（宮城県気仙沼市）での子供たちの居場所を創出する活動【面瀬学習支援】を市議会議員やNPOとの協働で活動を行うと共に、防災・減災（主に多摩地域）の観点からの活動【チーム防災】を行政や社会福祉協議会と連携して行い、本学の社会貢献分野で多大なる功績を残した。
井村ゼミ演習2 B班 堀井 勇 輝 他 4 名	堀井 勇輝 経済学部3年 小川 源太 経済学部3年 史 雪嬌 経済学部3年 前田 峻佑 経済学部3年 日比 春貴 経済学部3年	2018年度井村ゼミ3年生のうち堀井、日比、小川、史、前田の5名からなるB班は、2018年12月21日、22日、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された証券ゼミナール大会(全国大会、約30大学、700名参加)の第4テーマ「日本銀行の金融政策と証券市場」に参加し、論文を提出してプレゼンテーションを実施し、他大学との間で2日間にわたるディベートを展開し、優秀賞を受賞した。

斎藤正武ゼミ 高田璃子 他 4名	高田 璃子 商学部3年 蜷川 拓弥 商学部3年 花半禮 大成 商学部3年 瀬能 甲斐 商学部3年 千田 望美 商学部3年	特に首都圏において保育所の待機児童問題が社会問題となっている中で、育児支援を必要としている保護者とチャイルドマインダー資格保有者を含めた保育支援者をマッチングするICT技術を駆使したビジネスモデルは、日本における待機児童問題に対して一つの解決策を提案するもので、ビジネス化まで検討したこの提案は、ITコンテストにおいて、高く評価された。
松井友哉 石井理矩斗 金谷元伸	理工学部 1年	現在、本学理工学部物理学科1年には脊髄性筋萎縮症の学生が在籍している。この病気は筋力が低下する進行性の難病であり、当該学生は指先以外の殆どの部位を自力で動かすことが困難で、電動車いすを用いて生活している。本学理工学部物理学科1年の松井友哉氏、石井理矩斗氏、金谷元伸氏の3名は、学生実験や講義、昼食や学内の移動などの大学生活において当該学生を支援し、当該学生が就学できる環境を整えることに大きく貢献している。この3名を中央大学学生会会長奨励賞に推薦することでこの活動を評価するとともに、本学がバリアフリーな大学を目指す上で学生間の相互支援を推奨したい。
稲泉大地 他 20名	総合政策学部 3年	ボランティアセンター公認学生団体「チーム防災」の代表者として、災害時に備え防災への認識を高める活動を行い、「防災百人一首」を製作しWebでの公開を行うことで広く社会に対して防災、減災対策の意識向上に貢献した。また、チーム結成以降、日野市の小、中、高等学校、自治会、日野市民フェア等で実施した防災、減災活動は、「ぼうさい甲子園」で身近な安全、安心・安全なまちづくりを目指す優れた活動として「だいじょうぶ賞」を受賞しており、顕著な功績を残した。

## 第 20 回 法曹会賞

本賞は、中央大学法曹会が、毎年卒業する学生のうち、学業成績優秀または文化活動に顕著な功績を挙げた卒業生に対して授与するものです。

椎葉秀剛	法学部 4年	在学4年次に平成29年度司法試験合格
林竜希	法学部 4年	在学4年次に平成29年度司法試験合格

## 第 33 回 南甲倶楽部賞

本賞は学生会南甲倶楽部が、毎年卒業する学生のうち、学力優秀にて学問研究、文化活動、体育活動及び社会活動などの分野において顕著な成果を挙げ、本学の名声を高めると共に本学の発展に寄与した者を対象に授与するものです。（南甲倶楽部は実業界で活躍するOBが組織する団体）

反町仁美	法学部 4年	法学部卒業生の中で、在学中の学業成績が優秀であり、かつ所属ゼミでの活躍も顕著で、指導教員及びゼミ生からの信頼も厚い。
森野莉那	経済学部 4年	学長・学部長賞奨学金制度における学部長賞奨学生に2年連続して採用されており、学業成績が極めて優秀である。また、ゼミ活動においても積極的に活動しており、3年次では、チームとして出場した経済学部プレゼンテーション大会において部門優勝を果たした。率先して研究に取り組み、また、チームリーダーとして一人ひとりに向き合う姿勢は、学生の模範となるに相応しい。
横谷瑛美	商学部 4年	本年度商学部卒業生の中で学業成績が優秀であり、難関とされる公認会計士試験に在学中に見事合格した。
櫻井春菜	理工学部 4年	学部4年間を通して、継続してきわめてすぐれた学業成績を残した。在籍した応用化学科においては物理化学、無機化学、有機化学、化学工学などの化学の学習を網羅して、さらにそれぞれの実験に真摯に取り組み、優れた報告書を作成してきた。4年生では、研究において自発運動を行う液滴粒子についての研究を行い、その成果を卒業論文にまとめた。性格は温厚で社交的であり、周囲との調和を保ちつつ物事を進めている人物である。
大銃地駿佑	文学部 4年	大銃地駿佑氏は、真面目に勉学に励み、優秀な成績を収めてきた学生である。卒業論文「近世後期仙台藩異国船対応・海防態勢下における大肝入の動向」は、近世後期に重要となった異国船対応・海防の問題について仙台藩領気仙郡の大肝入を軸に分析し、幕府・藩・地域社会の三者関係を明らかにした独自の研究である。このような研究手法に適した史料を調査の末に発見し、難解な史料を丹念に解読して成果を上げた。この卒業論文については、第60回日本史関係卒業論文発表会（2019年4月20日、駒澤大学）において、本学を代表して発表する予定になっている。また、やる気応援奨学金を取得して、卒業論文の現地調査を実施し、さらに文学部長賞奨学金受給、学芸員資格を取得された。卒業後は本学の大学院に進学予定であり、今後も飛躍が期待される人材である。
岸間友希	総合政策学部 4年	岸間友希氏は国際政策文化学科に所属しながら政策科学科の基幹科目を多く履修し、四年間を通じて高水準のGPAに達している。基礎演習ゼミや人類学など国際政策文化学科の重要科目と、同学科の特長である複数の社会文化論を履修するとともに、政策科学科の法学、政治学関連科目を系統的に学んだ。高いGPAでこのような履修を重ねたことは、政策と文化の融合という学部教育理念を体現しているといえる。ゼミでは、社会安全にかかわる法政策学を学び、他のゼミ生のテーマにも高い関心を寄せ、自身でも、犯罪被害からの回復という視点から刑事法制度を多方面から検討し、卒業論文では、修復的司法の可能性を探る論稿をまとめるなど、学修意欲にあふれ顕著な成果を収めている。

#### 第 14 回 東京白門ライオンズクラブ学術奨励賞

本賞は、東京白門ライオンズクラブが、有為な人材の育成に資することを目的として、博士課程前期課程・修士課程に在学する外国人留学生のうち、優秀な成績をもって課程を修了し、かつわが国と出身国を結ぶ架け橋として活躍が囑望される者に授与するものです。

MUNKHSAIKHAN	NOMIN	大学院法学研究科 博士課程前期課程 民事法専攻	モンゴルから来日した留学生で、母国モンゴルでの医療紛争解決とその問題点に関心を持ち、日本での研究を選択した。日本語文献を読む能力が非常に高く、法律問題について日本語で議論する能力を備えており、温和な性格で、礼儀正しさと辛抱強さも持ち合わせている。
--------------	-------	-------------------------------	---

#### 第 5 回 東京白門ライオンズクラブ法務研究科学術奨励賞

本賞は、東京白門ライオンズクラブが、将来法曹として活躍が期待される人材の育成に資することを目的として、社会実務等の経験を有して法務研究科に入学し、在学中の業績が顕著と認められた学生に授与するものです。

山 本 光 治	大学院法務研究科 専門職学位課程 法務専攻	社会人学生として既習者コースで勉学に励んでいる。これまで、上場企業勤務、内閣府出向等、豊富な経験があり、それに基づく多様な考え方は他の履修者にも大きな刺激を与えており、授業における貢献は極めて高い。これからの企業法務を担う法曹として将来が囑望される人材である。
---------	-----------------------------	--